

第28回専門講習会

2016年1月29日九州大学

[プラズマ医療の現状と展望](#)

- [概 要](#)
- [プログラム](#)
- [申し込み方法](#)
- [アクセス](#)

*** プログラム ***

時 間	題目と講演者、要旨（敬称略）
13:00～ 13:05	はじめに 白谷正治（九州大学）
13:05～ 13:55	大気圧非平衡プラズマの基礎 古関一憲(九州大学) 大気圧プラズマは、ガス温度の高い熱平衡プラズマとガス温度が室温程度の非熱平衡プラズマに大別される。特に後者は、農産物等の熱に弱いバイオ物質へ応用で重要となっている。本講では、大気圧プラズマに関する基礎知識を整理し、その後に実用性の高い各種の大気圧プラズマ生成法とその特徴について紹介する。
13:55～ 14:45	プラズマ殺菌・滅菌の勘所 林信哉(九州大学) プラズマ殺菌・滅菌は、薬品を使用しない技術であり、極めて短時間に強力な殺菌作用を発現できる特長が有る。ここでは、プラズマ殺菌・滅菌の原理と典型的な装置を紹介するとともに、その実用化に対する課題についても述べる。
14:45～ 15:00	休 憩
15:00～ 16:00	プラズマによる癌治療、止血などの医療応用 田中宏昌（名古屋大学） プラズマによる癌治療は、第4の癌治療として、従来法では治療が困難な癌の治療に効果があるものと期待されている。一方、低温プラズマ止血は外科手術中の低侵襲止血法として、実用化が待望されており、電気機器としての世界での標準化作業が開始されている。これらのプラズマ技術の現状と将来展望を解説する。
16:00～ 17:00	プラズマ医療とナノ材料の安全性 田中昭代（九州大学） プラズマ医療の実用化には安全性の担保が必須である。プラズマ医療とナノ材料の安全性に関する試験方法、評価結果とどうういて初心者にも分かりやすく解説する。

Designed by [CSS.Design Sample](#)

Copyright © [一般社団法人 プラズマ・核融合学会](#). All Rights Reserved.